

令和4年度 埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム 後期
中間レポート (2)

片桐 麻里子

1. OSGS・OSUS 関係者たちとの交流

フィンドレー大学のフェル学長および外国語学科長の川村先生が来日され、OSGSの1～4期生とフィンドレー大学へ現地留学するプログラムであるOSUSに参加された方々との交流会が3月3日に行われました。フェル学長や川村先生と初めて対面でお会いし、授業の感想やプロジェクトの進捗を報告することができました。中学生から社会人までの多様な参加者たちが20人ほど集まり、お菓子やピザを食べながらカジュアルにプログラムについて共有しました。どのようなテーマで授業やプレゼンテーションを行っていたのかを聞き、プログラムの成果を発表するプレゼンテーションのアドバイスもしていただきました。貴重な機会をご用意いただき、OSUS・OSGSのコミュニティーの輪が広がった有意義な時間となりました。

2. 授業内容、プレゼンテーションの準備

「集団主義 VS 個人主義」という授業テーマの中からより具体的な3つのトピックに区分し、①友達・家族、②学校・仕事、③他人、というそれぞれの視点から日米での集団的また個人的な考え方を比較しています。私は①のトピックについてペアになっている現地学生と出し合った意見をまとめ、授業を担当して下さっているフィンドレー大学のモット先生と他の2人の参加者に伝えました。また、テーマに関する学習だけでなく、プレゼンテーションに向けて見やすいパワーポイントのスライドの作り方や発表するときに意識すべき話し方なども学びました。抑揚、スピード、言葉の切れ目などといった技術を本番に活かしてなめらかな発表に仕上げたいです。引き続き現地学生とオンラインでコミュニケーションを取りながら完成度の高いプレゼンテーションにしたいと思っています。

そして、埼玉親善大使として埼玉県をフィンドレー大学の関係者たちに紹介するプレゼンテーションの準備も進めています。ただ埼玉県の観光地を取りあげて発表するというよりも、埼玉県民として自分が住んでいる街でどのように生活しているのかにフォーカスした、地元だからこそ語ることでできる埼玉県の魅力を発信する予定です。卒業した学校や地元で名所となっているお寺、買い物に使っているショッピングモールなど、観光地ではない場所を紹介することで、個人化された埼玉県を身近に感じてもらえるのではないかと考えています。